

# 「がん検診へ行こうよ！」キャンペーン事業

## 事業概要

日本人の2人に1人は「がん」と診断される時代で、広島県では40歳以上の県民は1年間で、100人に1人が「がん」と診断されている。広島県では「がん対策推進計画（第1次：H20～H24、第2次：H25～H29）」を策定し、予防や健診受診などに自ら積極的に取り組むことを求めている。このような背景の下、平成26年度に「がん検診へ行こうよ！」キャンペーンモデル事業として、公衆衛生推進協議会主体の受診勧奨活動を行った。平成28年度は、昨年度に引き続き健康寿命の延伸に係る健康づくり事業の一環として、「がん検診の受診率向上」を目的に公衆衛生推進協議会が中心となり、全県的に受診勧奨キャンペーンを展開した。

## 事業内容

【対象】26市町公衆衛生推進協議会（原則、市町単位での申し込みとする）

### 【実施内容】

行政及び公衛協の実状に応じて、各公衛協で受診率向上に向けた取り組みを行う。取り組みに当たっては、各市町の保健部局と連携する。

- がん検診受診に関する啓発
  - ・ちらしやバッジなど、各種受診勧奨グッズによる啓発
  - ・がん検診に関する勉強会や講演会などの開催
- がん検診の受診率調査
  - ・がん検診の受診に関する現状調査
  - ・受診勧奨活動後の受診率の確認



実施するにあたって、  
環保協では…

- 公衛協名入りの受診勧奨グッズの作成・配布
- 活動ノウハウや情報の提供
- 「広島県がん検診推進員養成研修」の開催

## ＜受診勧奨グッズ＞

実施公衛協の名前が入った受診勧奨グッズを作成するほか、広島県が展開している「がん検診へ行こうよキャンペーン広島」で提供している啓発グッズを活用した。



ちらし (A4)



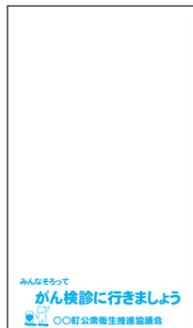
ポケットティッシュ



バッジ



のぼり



タオル

## 成果

- 12公衛協で受診勧奨活動を実施  
27年度の9公衛協から12公衛協に拡大。地域の特長を活かした受診勧奨活動が展開された。
- 保健部局との連携体制の構築・強化  
公衛協では、保健部局と連携した事業展開が全県的に少ない傾向にあるが、受診勧奨活動を通して保健部局との連携体制が構築・強化された。

## 平成29年度に向けて

全県共通事業重点メニューとして展開  
29年度は、全県共通事業重点メニューとしてキャンペーン事業を実施し、受診勧奨活動に取り組む公衛協の拡大を目指す。  
また本事業をきっかけとして、保健部局との連携体制を構築し、健康分野における住民活動の充実を図っていききたい。

## 事業の実績

実施公衛協は、12公衛協だった。特徴的な取り組みを紹介する。

### 海田町公衛協

連携先：海田町生活安全課、保健センター  
受診勧奨活動：

受診PR用グッズ（ポケットティッシュ500個・タオル100本・チラシ50枚）を活用し、公衛協主催の「エコと瀬野川環境フェア」で、「がん検診へ行こう」ブースを設置。血圧測定や大腸がんクイズなどを行った。

### 保健センター職員との連携（9月25日）

### エコと瀬野川環境フェア

エコと瀬野川環境フェアで、血圧測定や大腸がんクイズを実施。大腸がんの知識や早期発見の重要性をPRした。  
ブースでは、保健センター職員と連携し、専門的な話をしてもらいながら受診勧奨を行ったことで、より関心を持ってPRができた。



▲保健センター職員と協力

## ＜貸し出しグッズを整備＞

受診勧奨活動を行う際の助けとして、以下の貸し出しグッズを整備した。  
56ページの「環境と健康の学習ルーム」で貸し出しをしているので、活用いただきたい。



大腸がんクイズラリーパネル



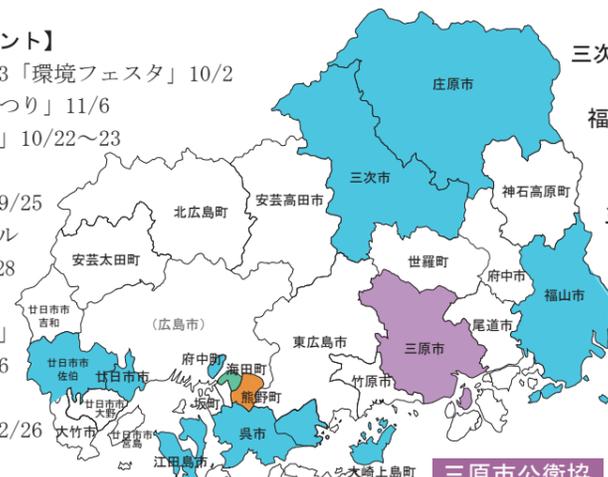
乳がん触診モデル

### 【普及啓発を行ったイベント】

- 庄原市「2016しょうばら健康福祉まつり」 5/24
- 三次市「みよし環境フェスタ2016」 1/13
- 福山市「第7回カープチェー」 4/30・5/1
- 「複合商業施設」 11/15・16
- 三原市「さつきまつり」 5/28
- 「健康福祉まつり」 10/29・30
- 「第5回がんフォーラム」 12/17
- 大崎上島町「町内のスーパー駐車場」 5/8・9/11
- 「産業文化祭」 2/18・19
- 呉市「呉市中央区成人式」 1/9

### 【普及啓発を行ったイベント】

- 廿日市市「桜まつり」 4/3
- 「環境フェスタ」 10/2
- 「あいプラザまつり」 11/6
- 府中町「府中つばき祭り」 10/22～23
- 海田町「エコと瀬野川環境フェア」 9/25
- 江田島市「フェスティバル江田島2016」 5/28
- 廿日市市佐伯「心と心のハーモニーフェスタ」 10/26
- 熊野町「くまの町健康まつり」 2/26



### 熊野町公衛協

連携先：熊野町子育て・健康推進課  
受診勧奨活動：

受診PR用グッズ（のぼり5本、ポケットティッシュ1,000個、タオル100本、ちらし200枚）を活用し、「くまの町健康まつり」で配布・活用した。  
喫煙と肺がんのパネル展示のほか、乳がん触診モデルを置いて、がん検診のPRを行った。

### 乳がん触診モデルを活用した啓発（2月26日）

### くまの町健康まつり ブース来場者：153人

「乳がんセルフチェックブース」の横にキャンペーンブースを設置。乳がんの触診モデルを使って、乳がんのセルフチェックのポイントや重要性を医師から説明してもらった。  
また、女性だけでなく、来場した男性にも積極的に啓発を行った。



▲触診モデルを使ってPR

### 三原市公衛協

連携先：三原市保健福祉部  
受診勧奨活動：

受診PR用グッズ（ポケットティッシュ500個・タオル100本・チラシ100枚）を活用し、「第5回がんフォーラム」をはじめ、各種イベントで配布・活用した。

### 市民公開講座 第5回がんフォーラム（12月17日）

### 場所：リージョンプラザ

啓発活動を行う際のツールとして、アンケートやクイズを手作りし、来場者に興味を持ってもらった。  
がん検診の受診勧奨を数年にわたって取り組んできたため、来場者に声をかける推進委員の話方が上手になり、話を聞いてもらえるようになった。



▲手作りのクイズで来場者の興味を引く